

組織・グループ名	横須賀市ボランティア連絡協議会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 <ul style="list-style-type: none"> ①当事者支え合い・当事者支援の促進 ②地域福祉ニーズ(課題)への対応 ③福祉の学び(参加型福祉教育)の推進 ④福祉コミュニティの構築 ● 協働事業助成 <ul style="list-style-type: none"> [1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動]
助成事業名	あったかハート交流会

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

目的：ともに住みやすい地域社会をつくるために、障害者に対する偏見や差別について考える一助とする

対象：一般市民 (当日参加者115名) 日程：令和2年(2020年)12月5日(土)

会場：横須賀市立総合福祉会館 5階 ホール

講師&内容：

1) 手話を学んでみよう

- ・神奈川県福祉子どもみらい局から出されています小冊子をもとに、講師二人による寸劇タイプで簡単な手話についての講習を行った。

2) 視覚障害について体験談とライブ 栗山龍太さん

- ・11歳のときに視覚を失った。日常のエピソードのお話の中から、視覚障害について理解を深めた
- ・パラリンピック東京大会においてテーマソングとなったリアルビクトリー等を中心に綺麗な歌声による癒しのひと時を過ごしていただくことが出来た。



実施状況：

1) 新型コロナ禍での開催の為、開催できるか否かの心配ではあったが、コロナ感染予防対策を準備段階において検討してきたことを忠実に実行し取り組んだ。

2) コロナ禍に於ける開催となり、ソーシャルディスタンスを取るに当って会場ホールが程良い参加人員となった

成果：

- ・聴覚障害(外観から障害者と分りにくいこと)視覚障害(人間が視覚から得る情報は80%以上)について学び自分出来ることは寄り添いたいとの声がアンケートに多数寄せられた。

- ・コロナ禍で巣ごもり状態が続いてきた中、澄んだ綺麗な声に一時ではあったが癒やされた時間を過ごせた。

今後の展望

- ・ともしび運動の理念を大切にしながら差別の無い、偏見の無いそして多様性を認め合うことが出来る。そんな気づき出来るような活動を不断無く行なっていきたい。